

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

A MEMBER OF ORIX

第**42**期

ビジネスレポート

2017年7月1日 ▶ 2018年6月30日

株主の皆さまへ	1
連結決算ハイライト	3
セグメント別業績	4

特集

働き方改革支援ツール 「Next Work」を販売開始しました！	5
財務諸表	7
株式情報	9
会社情報	10

株式会社ユビテック

証券コード：6662

株主の皆さまへ



代表取締役社長 荒木 克彦

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社はこの度第42期（平成29年7月1日から平成30年6月30日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の政策動向や地政学的リスク等の懸念材料はあるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは生産効率を改善する先進の工場IoTやドライバーおよび工場従業員などを対象として、バイタルセンサーを使用した安全・衛生システムなど、IoT技術を駆使した製品の展開に注力してまいりました。平成29年11月には幕張メッセで開催された「第3回IoT/M2M展」にホシデン(株)と共同出展し、(株)ユビテックが提供する最新のIoTソリューションを紹介したほか、12月にはIoTソリューションの拡大を目的として「IoTイノベーション室」を新設するなど、オリックスと連携しながらIoTを活用したサービスの強化に向けた取り組みや体制作りを積極的に行ってまいりました。IoTソリューションについては、平成30年6月に販売を開始した働き方改革支援ツール「Next Work」が現在多くの引き合いをいただいております。受注獲得に注力しております。

また、前連結会計年度に引き続き原価管理の徹底、業務の効率化、コスト削減などを行い、収益構造の改善に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2,091百万円（前年同期比5.1%減少）、営業利益は131百万円（前年同期比21.2%増加）、経常利益は133百万円（前年同期比36.5%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は新株予約権戻入益28百万円を特別利益に計上したこと等により、138百万円（前年同期比90.0%増加）となりました。

■今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新興国経済の不確実性や地政学的リスクなど世界経済の不安定要素はあるものの、国内経済は引き続き緩やかな回復基調で推移することが見込まれます。

当社グループの主力製品であるATM向け紙幣鑑別センサモジュールは、中国市場におけるキャッシュレス化の影響を受けることが予想され、また通信アミューズメント機器につきましては、一部供給製品の生産終了があったことにより、売上高は減少する見通しです。

当社グループは現在、IoT技術を駆使した製品の展開に注力しており、企業資源の有効活用化を目標として、「人」、「設備」、「車」、「施設」を中心としたソリューション開発を実施しております。その

第一弾として、平成30年6月15日に「人」を対象とした働き方改革支援ツール「Next Work」を販売開始しており、引き合いや商談件数も増加していることから、翌連結会計年度の売上に寄与してくるものと予想しております。また、これまで進めてまいりました「設備」を対象とした工場IoTキットをブラッシュアップした製品をリリースする予定です。「車」については既存品に次ぐ次期ソリューションの開発を進めており、「施設」につきましても会議室管理ソリューションおよび遠隔会議ソリューションを中心に開発を加速させてまいります。最終的にはこれらの各分野を統合しAI、BIでの更なる付加価値や差別化を実施していく予定です。

今後もオリックスとの営業連携やシステムインテグレーターとの連携も積極的に行い、事業拡大に努めてまいります。

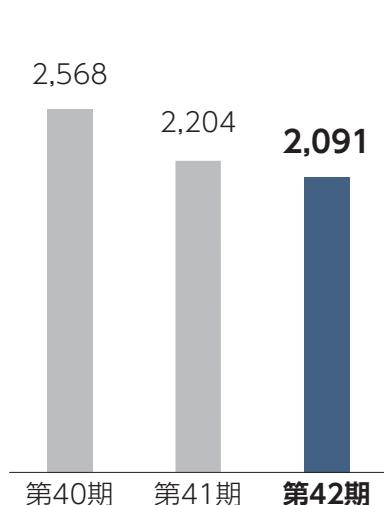
これらにより、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は2,152百万円（前年同期比2.9%増加）、営業利益は136百万円（前年同期比3.3%増加）、経常利益は136百万円（前年同期比1.9%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は102百万円（前年同期比26.7%減少）を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

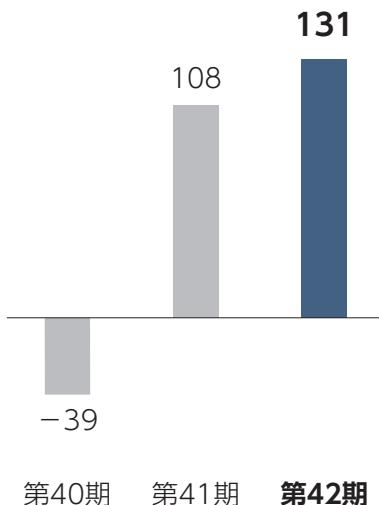
■ 売上高

(単位:百万円)



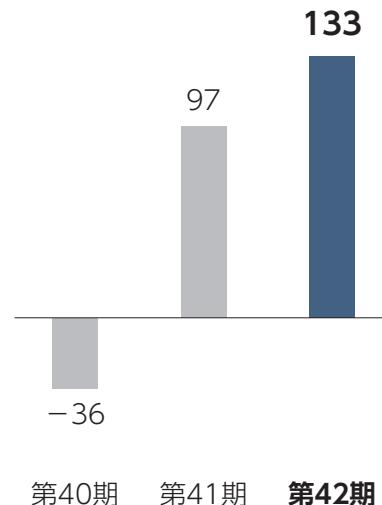
■ 営業利益

(単位:百万円)



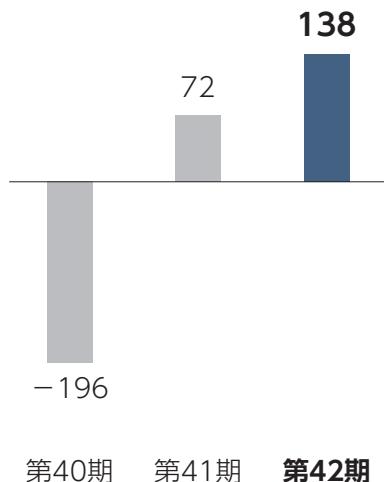
■ 経常利益

(単位:百万円)



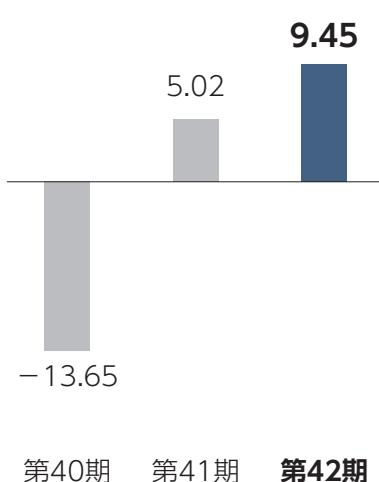
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



■ 1株当たり当期純利益

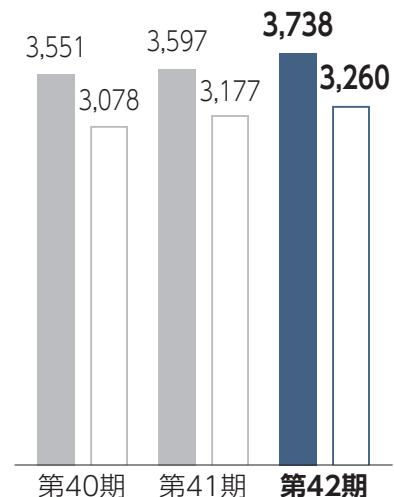
(単位:円)



■ 総資産／純資産

(単位:百万円)

■ : 総資産 □ : 純資産

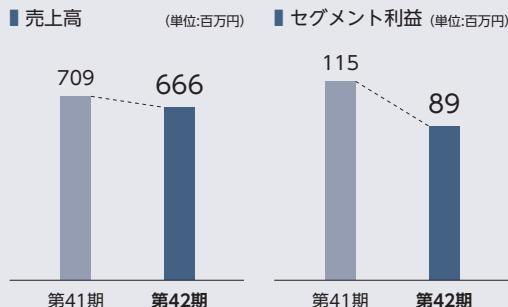


セグメント別業績

IoT事業

IoT事業は、工場IoTソリューション案件が複数社からの受注を獲得し売上拡大に寄与しましたが、テレマティクス車載機の売上減少の影響が大きく、前年同期比で減収減益となりました。

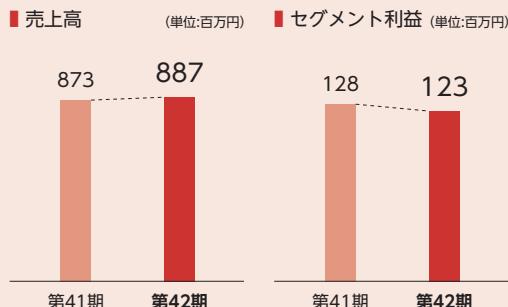
この結果、当連結会計年度の売上高は666百万円（前年同期比6.2%減少）、セグメント利益は89百万円（前年同期比23.0%減少）となりました。



製造受託事業

製造受託事業は、カラオケ案件の製品構成の変化により利益率が若干低下しておりますが、紙幣鑑別センサモジュールの販売が年間を通して堅調に推移し、売上高、セグメント利益ともおおむね前年同期並みを確保しております。

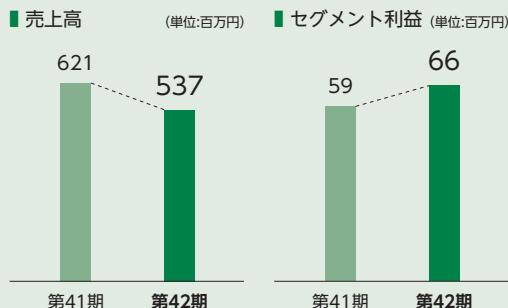
この結果、当連結会計年度の売上高は887百万円（前年同期比1.6%増加）、セグメント利益は123百万円（前年同期比3.9%減少）となりました。



開発受託事業

開発受託事業は、子会社の(株)ユビテックソリューションズにおいて、売上高は開発案件の減少や顧客の内製化の影響があったことにより減収となりましたが、利益面は外注費等の製造原価の見直しを図ったことで売上総利益率が改善し、増益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は537百万円（前年同期比13.5%減少）、セグメント利益は66百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。



働き方改革支援ツール 「Next Work」を販売開始しました!

当社が進めるIoT事業の一環として、リストバンド型端末を活用して職場環境を可視化し、工場、オフィス、店舗などあらゆる業種の働き方改革を支援するツール「Next Work」の販売を開始しました。

ユビテックの保有する、データを「あつめる」、それを「つなぎ」、さらに「ため」、そして「いかす」、この4つの技術を生かした製品となっております。

今回はこちらをご紹介させていただきます。



取締役IoTイノベーション室長
松田和宏

「Next Work」でできること

「Next Work」は、リストバンド型端末を活用することで職場環境を可視化し、作業員、管理者、経営者が三位一体となる働き方改革を支援する職場管理ソリューションです。



作業員



管理者



経営者

健康、体調、ストレス管理

パルスやストレス状態などのデータを取得できるリストバンド型端末を手首に装着することで、職場での自身の健康状態をWeb上で確認することができます。これにより、気が付きにくい自分の体調変化を客観的に早期に知ることができます。

職場の労働環境の改善・仕事の効率化

作業員全員の状態をリアルタイムに知ることによって職場の労働環境や作業効率の改善案を早期に検討可能になります。蓄積された過去データと比較することで作業員の変調の兆しも気づきやすくなります。また、作業員の位置情報や作業動線を可視化できるため、より効率的な業務フローへの見直しなど業務効率化の検討に役立てることができます。

コンプライアンス

部門ごとに集約された職場環境のデータや、健康状態のデータから職場の隠れたリスクが見える化され職場環境の改善やコンプライアンスの強化に活用することができます。

「Next Work」は次のような情報を提供することができます。

1	日々の健康状態 パルス、身体負荷、歩数、消費カロリー、ストレスをスマートフォンに表示
2	現場の動き 作業員別の日ごとの動きを見える化（動線表示）
3	体調変化 作業員別の体調の変化を見える化
4	危険状態 パルス、ストレス、転倒検知など、危険発生内容を一覧表示
5	労働環境 部門ごとの労働状況、職場環境、危険通知内容を一覧表示

「Next Work」を活用することで次のような業務効率化が可能になります。



工場

作業中の危険を早期に察知し、職場の安全衛生の向上に役立てることができます。

作業員の健康状態について見守りができ、業務中の動きを知ることで生産性の向上が図れます。



オフィス

従業員の健康状態や労働時間などを把握することで、健全な職場環境づくりに貢献できます。



店舗

スタッフの動きを可視化し、効率的な店舗レイアウトの変更など業務効率化をサポートします。

「Next Work」は、ユビテックがこれまで培ってきたIoT技術によって実現された、働き方改革を支援するシステムです。ユビテックは、今後もさまざまな分野でこの技術を生かした製品開発を行ってまいります。

財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
資産の部			負債の部		
流動資産	3,413,230	3,525,524	流動負債	365,453	417,013
現金及び預金	2,756,840	2,877,213	固定負債	54,408	60,235
売掛金	463,836	478,081	負債合計	419,862	477,249
電子記録債権	—	29,376	純資産の部		
製品	93,315	57,925	株主資本	3,099,952	3,218,396
仕掛品	14,179	5,234	資本金	928,831	941,079
原材料及び貯蔵品	53,230	55,633	資本剰余金	642,733	654,981
その他	32,236	22,637	利益剰余金	1,585,063	1,679,012
貸倒引当金	△ 408	△ 577	自己株式	△ 56,676	△ 56,676
固定資産	184,254	212,573	その他の包括利益累計額	△ 1,345	△ 2,326
有形固定資産	101,795	85,290	新株予約権	50,824	15,064
無形固定資産	22,175	56,695	非支配株主持分	28,191	29,713
投資その他の資産	60,283	70,586	純資産合計	3,177,622	3,260,848
資産合計	3,597,484	3,738,097	負債純資産合計	3,597,484	3,738,097

前期末 = 2017年6月30日現在

当期末 = 2018年6月30日現在

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前年同期	当期
売上高	2,204,673	2,091,568
売上原価	1,766,191	1,660,239
売上総利益	438,482	431,329
販売費及び一般管理費	329,812	299,567
営業利益	108,670	131,761
営業外収益	1,902	2,352
営業外費用	12,658	456
経常利益	97,914	133,657
特別利益	—	28,270
特別損失	531	6,784
税金等調整前当期純利益	97,382	155,143
法人税等合計	23,032	15,422
当期純利益	74,350	139,720
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,644	1,545
親会社株主に帰属する 当期純利益	72,705	138,175

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前年同期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	452,867	194,807
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 20,711	53,326
財務活動による キャッシュ・フロー	14,072	△ 27,311
現金及び現金同等物に係る 換算差額	390	△ 449
現金及び現金同等物の 増減額	446,618	220,373
現金及び現金同等物の 期首残高	1,710,222	2,156,840
現金及び現金同等物の 期末残高	2,156,840	2,377,213

株式情報 (2018年6月30日現在)

■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
オリックス(株)	8,527,200	57.65
MSIP CLIENT SECURITIES	648,035	4.38
糸谷 輝夫	327,100	2.21
本田 康訓	209,000	1.41
みずほ証券(株)	189,900	1.28
日本スタートラスト信託銀行(株) (株式付与ESOP信託口)	161,200	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	115,500	0.78
(株)SBI証券	100,700	0.68
後和 信英	90,200	0.60
むさし証券(株)	90,200	0.60

(注) 上記の日本スタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)は、社員の帰属意識の醸成と経営参画意識を持たせ、長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚を図るとともに、中長期的な企業価値向上を図ることを目的としたインセンティブ・プランとして、ESOP信託を導入したことによるものであります。

■ 株式の状況

発行可能株式総数

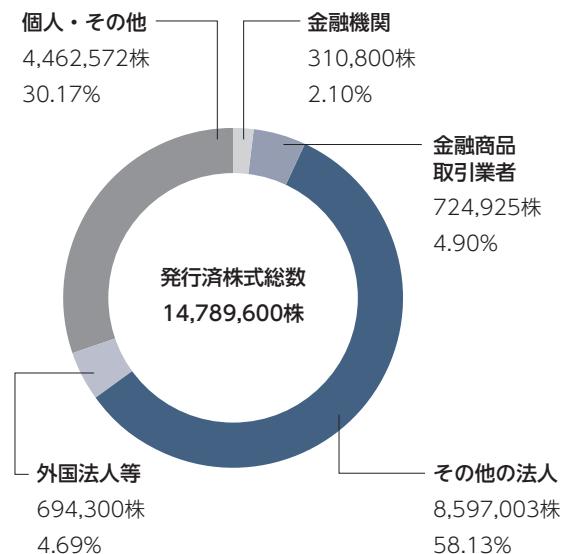
52,000,000株

発行済株式総数

14,789,600株

株主数

3,399名



会社情報 (2018年9月26日現在)

■ 会社概要

商号	株式会社ユビテック Ubiteq,INC.
設立	1977年11月17日
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布三丁目20番1号 Daiwa麻布テラス
資本金	941百万円
金融商品取引所	東京証券取引所 (ジャスダック)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
証券コード	6662
従業員数	84名 (連結)
連結子会社	株式会社ユビテックソリューションズ UBITEQ SOLUTIONS VIETNAM,LTD.

■ 役員

代表取締役社長	荒木 克彦
取締役	松田 和宏
取締役	錦織 雄一
取締役	前川 淳
取締役	細川 展久
社外取締役	江崎 浩
社外取締役	中澤 仁
常勤監査役	片野 一宏
社外監査役	与謝野 肇
社外監査役	津谷 忠男

■ 株主メモ

事業年度

毎年7月1日から翌年6月30日までの1年間

基準日

定時株主総会、期末配当 毎年6月30日
中間配当 毎年12月31日

定時株主総会

毎年9月下旬

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1番1号
TEL.0120-232-711 (通話料無料)

郵送先

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行 証券代行部

公告方法

電子公告 (<https://www.ubiteq.co.jp>)

ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

